

米海兵隊実弾射撃訓練、終了する (3/5)

矢臼別演習場における在沖繩米海兵隊の実弾射撃訓練（沖縄県道 104 号線越え 155 mm 榴弾砲実弾射撃訓練の分散・実施）が、3月5日午前10時30分に終了しました。

昨年（1～2月）ほどではなかったとは言え、氷点下 20℃ 近くまで気温が下がることもあったと思います。その中で、9日間、昼夜の監視活動を続けた監視隊の皆さんに、心から感謝します。

また、厳しい状況のなかでの監視活動を食事の面で支えた「矢臼別食堂」の皆さん、ありがとうございました。

米軍来るな！ 釧根連絡会・現地監視本部（本部長；森高哲夫さん＝別海町中西別酪農家）の監視活動によりカウントされた射撃弾数は下の表のとおりです。

	08:30 ～12:00	12:00 ～16:30	日中計	19:00 ～21:30	うち夜間 照明弾	射撃総数
2月26日	0	2	2	0	0	2
2月27日	6	20	26	0	0	26
2月28日	0	4	4	0	0	4
2月29日	13	13	26	19	10	45
3月1日	88	137	225	75	2	300
3月2日	16	5	21	87	87	108
3月3日	75	66	141	41	41	182
3月4日	35	138	173	8	0	181
3月5日	17	0	17	0	0	17
計	250	385	635	230	140	865

今回は、総弾数は多い方ではありませんでしたが、夜間射撃の数も割合も大きかったというのが、一つの特徴となっています。（右表参照）

	総射撃数	うち夜間射撃	夜間の割合
2019年度(19年10/15～10/23)	1,600 発	218 発	13.6%
2020年度(中止)			
2021年度(21年10/22～10/31)	1,137 発	140 発	12.3%
2022年度(23年01/25～02/04)	443 発	28 発	6.3%
2023年度(24年02/26～03/05)	865 発	230 発	26.6%

また、夜間射撃は「21時30分まで」という約束だったものが、3月1日には21時30分を過ぎて発射音が聞こえたという事案も発生しており、今後の追及が必要です。

海兵隊員・装備品の移動があります。監視活動は終わっていません。